

平成 22 年 10 月 14 日

各 位

東京都中央区新川一丁目 17 番 24 号
サムシングホールディングス株式会社
代表者 代表取締役社長 前 俊守
(JASDAQ・コード1408)
問合せ先：
取締役管理本部長 笠原 篤
(電話番号：03 - 5566 - 5555)
(<http://www.sthd.co.jp/>)

平成 22 年 8 月期 通期 (連結・個別) 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 22 年 8 月期通期(平成 21 年 9 月 1 日～平成 22 年 8 月 31 日)の連結・個別業績予想について、平成 21 年 10 月 15 日付当社「平成 21 年 8 月期決算短信」にて公表しました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 平成 22 年 8 月期 連結業績予想数値の修正

(1) 平成 22 年 8 月期 通期 (平成 21 年 9 月 1 日～平成 22 年 8 月 31 日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1 株当たり当 期純利益(円)
前回発表予想 (A) (平成 21 年 10 月 15 日発表)	5,748	90	70	42	5,387.33
今回発表予想 (B)	5,515	71	44	△3	△453.86
増減額 (B-A)	△232	△18	△25	△45	—
増減率	△4.0%	△20.9%	△35.8%	—	—
(ご参考)前期実績 平成 21 年 8 月期	4,627	59	40	△10	△1,304.92

2. 連結業績予想数値の修正の理由

同業他社との競争激化により、売上高につきましては前回の発表予想を若干下回る見通しです。損益面につきましては、地盤改良事業において競争激化から生じた原価の上昇を販売及び一般管理費の圧縮で補いきれず、営業利益につきましては前回発表の数値に到達しない見込みであり、経常利益につきましても持分法による投資損失が当初想定した以上に拡大したため、前回の発表予想を下回る見通しです。

しかしながら、保証事業を営む子会社の業績が当初予想した額を上回ったことにより、結果として法人税、住民税及び事業税はほぼ期初計画とおりのため、これらの結果、当期純損失となる見込みです。

ご注意 本資料に掲載されている業績予想は、当社が発表日現在において入手可能な情報をもとに当社が合理的に判断したのですが、不確実性を含んでおり、その内容を当社として保証するものではありません。実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

3. 平成22年8月期 個別業績予想数値の修正

(1) 平成22年8月期 通期 (平成21年9月1日～平成22年8月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり当 期純利益(円)
前回発表予想 (A) (平成21年10月15日発表)	376	25	30	29	3,747.16
今回発表予想 (B)	363	31	38	11	1,422.39
増減額 (B-A)	△12	6	8	△17	—
増減率	△3.3%	25.0%	28.2%	△61.1%	—
(ご参考)前期実績 平成21年8月期	357	45	52	△5	△700.09

4. 個別業績予想数値の修正の理由

諸経費の圧縮により営業利益及び経常利益は前回発表予想を若干上回る見込みですが、平成22年4月12日付「平成22年8月期 第2四半期累計期間の連結・個別業績予想の修正に関するお知らせ」により発表した税制改正に伴う繰延税金資産の取り崩しによる影響が、当初決算期末において計上を予想した繰延税金資産の見積額まで回復することが出来ず、結果、当期純利益が減少する見通しです。

以 上

ご注意 本資料に掲載されている業績予想は、当社が発表日現在において入手可能な情報をもとに当社が合理的に判断したのですが、不確実性を含んでおり、その内容を当社として保証するものではありません。実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。